

令和元年(2019年)10月29日(火曜日)

「三島梅花藻の里」視察

台湾の行政機関
水辺環境保全学ぶ

台湾の行政機関「台湾經濟部水利署」の職員ら8人が28日、三島市内の河川などを訪れ、水辺環境の保全に取り組みNPO法人「グランドワーク三島」の活動などを見学した。

絶滅危惧種「ミシマバイカモ」の群生地「三島梅花藻の里」を視察し、管理する同NPOインストラクターの山口東司さん(77)から「(バイカモは)汚れてしまうとすぐにダメになる。定期的な手入れが日本に滞在する



ミシマバイカモの清掃作業を体験する訪問団
＝三島市の三島梅花藻の里

団長を務めた同署第一河川局の陳健豊局長は「行政と民間が一体で水環境を整備していることが印象に残った。こうした取り組みを母国に持ち帰りたい」と話した。
一行は11月2日まで